

スポーツ公園の計画

焼却場の西側にある最終処理場の跡地には、スポーツ公園を作る検討をしています。

周辺地域まちづくり協議会で挙げられた要望；

野球兼ソフトボール場、サッカー兼ラグビー場、テニスコート、汎用グラウンド、
体育館（災害時避難施設）、自転車教習場、スケートパーク、クライムロックツリー、
クラブハウス、温浴施設と地域住民交流のためのコミュニティー施設、災害医療施設、
周辺道路及び周辺環境整備、道の駅

2016年度は、各町内会・自治会から新しいメンバーを1人加えて、**ワークショップ**を開きました。

2017年度は「熱回収施設等の周辺施設整備のあり方検討委員会」が結成されました。

2月には「**熱回収施設等の周辺施設整備基本構想（案）**」として町田市長に報告されました。

町田市5ヵ年計画は、2017年度から2021年度までの重点的事業を網羅していますが、
これに、温浴施設の整備と最終処理場のスポーツ公園化の一部（池の辺地区）が含まれています。
重点事業3；健康増進施設の整備（事業費概算＝5億5000万円）が含まれています。
重点事業7；処分場上部を利用した公園の整備（事業費概算＝2億2600万円）
温浴施設は室内プールの駐車場に建てる案を検討しています。
両方とも、東京オリンピックの翌年**2021年度に整備完了の予定**です。

2018年度は、池の辺地区のスポーツ公園化と室内プールの駐車場に建設する温浴施設について、
基本設計が進みました。

次のページは最終処理場の跡地の全体計画です。

町田市5ヵ年計画は、2017年度から2021年度までの重点的事業を網羅していますが、
これに、温浴施設の整備と最終処理場のスポーツ公園化の一部（池の辺地区）が含まれています。
重点事業3；健康増進施設の整備（事業費概算＝5億5000万円）が含まれています。
重点事業7；処分場上部を利用した公園の整備（事業費概算＝2億2600万円）

両方とも、東京オリンピックの翌年**2021年度に整備完了の予定**です。

最終処理場の跡地に整備するスポーツ公園のイメージ



最終処理場の跡地に整備するスポーツ公園のイメージ

最終処理場の跡地をスポーツ公園として使うには地区により時間のずれがあります。
一番早く使えるようになるのは池の辺地区です。

池の辺埋立区に「多目的芝生広場」と「遊び芝生広場」を配し、
それを取り囲むように「ジョギングコース（500m）」が、外側には「散策路」があります。
中央奥には「テニスの壁打ち」や半面の「バスケットボールコート」があります。
その右手には「遊具広場」があって、小さな子ども達が遊べるようになっています。
園内のあちこちに背伸ばしや、腹筋運動等ができるベンチを設置する事を予定しています。
尾根緑道にも繋がっていて、ウォーキング、ジョギング、サイクリングができます。
この他、出入口（4か所）、休憩舎（2か所）、トイレ、駐車場、駐輪場が計画されています。

次の図は町田市忠生地区ごみの資源化施設周辺地域整備検討委員会（2019年1月18日）で
配られたもので、最終処分場池の辺地区に予定されている「スポーツ公園」の最新の案です。
（通常の地図）と違い、左斜め下が北を向いていますので注意して下さい。
この地図の下側が小山田桜台に面し、右側が尾根緑道です。）

